

株主の皆さまへ

# 第6期 株主通信 (中間期) 2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

## Contents

ごあいさつ	1
グループ経営計画	3
連結財務ハイライト	5
国内損害保険事業	7
国内生命保険事業	8
海外保険事業	9
金融・サービス事業	10
CSRの取組み	11
会社概要／株式の状況／役員	13
株式事務に関するご案内	14



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第6期中間期株主通信をお届けいたしますので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

2015年12月

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社  
グループCEO 取締役社長 櫻田 謙悟



## 保険の先へ、挑む。

変化の時代にも、揺らぐことのない確かな明日をお届けしたい。

その想いをカタチにするために、私たちは進化します。

お客様の「安心・安全・健康」な暮らしをひとつなぎで支えるグループへ。

保険の先へ、挑む。

日本の「損保」から、世界で伍していく「SOMPO」へ。



メガトレンドを受けた  
事業環境の変化

戦略  
中核事業の収益力向上

国内  
損害保険

事業環境の変化をふまえて、当グループの収益ドライバーである国内損害保険事業は、損保ジャパン、日本興亜損保の合併によるシナジーの追求および自動車保険の商品改定・料率改定など、収益力向上の取組みを着実に実行しています。

戦略  
成長事業への  
経営資源の投入

国内  
生命保険

海外  
保険

国内生命保険事業は、損害保険代理店ネットワークを最大限活用する販売戦略および収益性重視の商品戦略により成長を続けています。また、海外保険事業は、すでに展開している地域におけるオーガニック成長に加え、規律ある投資を行うことにより、グループの成長ドライバーとして持続的な成長とグループ利益の拡大を目指しています。

目指す姿

真のサービス産業として、「お客様評価日本一」を原動力に、世界で伍していくグループへ

国内  
損害保険

国内  
生命保険

海外  
保険

金融・  
サービス

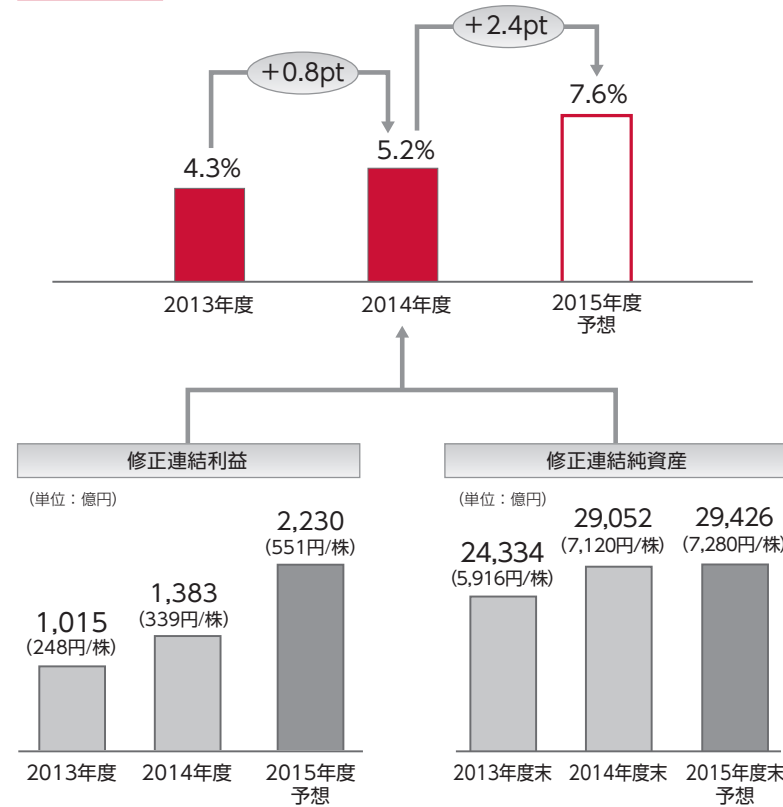
当グループは、お客様からの高い信頼と評価を活かし、保険にとどまらず、幅広い事業を通じて、お客様の安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供する真のサービス産業として、世界で伍していくグループを目指します。

経営計画の進捗状況

国内損害保険事業では、台風15号などの自然災害があったものの、自動車保険を中心に収益性は改善傾向です。国内生命保険事業では、インターネット申込みを開始するなど、お客さまの数の拡大に向けた取組みを進めており、医療保険の販売が好調に推移しています。

中期経営計画最終年度である2015年度は、計画策定当初の経営数値目標を上回る修正連結利益2,230億円、修正連結ROE7.6%を見込んでおり、達成に向けて順調に取組みを進めています。

修正連結ROE



各事業区分の修正利益の推移 (単位：億円)

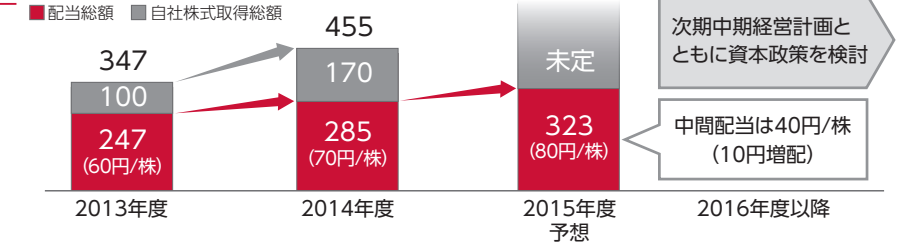
	2013年度	2014年度	2015年度	
	実績	実績	予想	当初計画
国内損害保険事業	65	699	1,127	700 ~ 800
国内生命保険事業	857	474	900	1,000 ~ 1,100
海外保険事業	78	186	184	140 ~ 200
金融・サービス事業	15	23	22	20 ~ 30
合計 (修正連結利益)	1,015	1,383	2,230	1,800 ~ 2,100

株主還元について

2015年度の間配当金は、前年度の30円から10円増配して1株あたり40円としました。2015年度の年間配当金は80円 (期末配当金40円) と、2期連続の増配を見込みます。

また、資本の状況や利益水準をふまえて機動的に自社株式取得を実施する方針です。

株主還元総額の推移 (単位：億円)



参考	修正連結利益 (除く国内生命保険事業)	2013年度	2014年度	2015年度 予想
修正連結利益 (除く国内生命保険事業)	158億円	908億円	1,330億円	
総還元性向	219%	50%	-	

修正連結利益等の計算方法

修正連結利益 = 以下の各事業区分の修正利益の合計

事業区分	修正利益計算上の事業の定義	修正利益の計算方法
国内損害保険事業	損害保険ジャパン日本興亜株式会社、 そんぽ24損害保険株式会社、 セゾン自動車火災保険株式会社、 の単体の合算	当期純利益 + 異常危険準備金繰入額 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後) - 特殊要因
国内生命保険事業	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	当期エンベディッド・バリュー (EV) 増加額 - 増資等資本取引 - 金利等変動影響額
海外保険事業	海外保険子会社	当期純利益
金融・サービス事業	金融サービス事業、ヘルスケア事業など	当期純利益

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く生命保険子会社純資産) + 異常危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 生命保険子会社エンベディッド・バリュー (EV)

修正連結ROE = 修正連結利益 / 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

総還元性向 = (配当総額 + 自社株式取得総額) / 修正連結利益 (国内生命保険事業を除く)

損保ジャパン日本興亜ホールディングス

	(単位:億円)	
	2014年度中間期	2015年度中間期
経常収益	16,062	16,757
保険引受収益	14,948	15,616
正味収入保険料	12,444	13,305
生命保険料	1,343	1,436
資産運用収益	978	1,025
その他経常収益	136	115
経常費用	15,023	16,322
保険引受費用	12,669	13,735
正味支払保険金	7,304	7,100
資産運用費用	32	135
営業費及び一般管理費	2,264	2,392
その他経常費用	56	58
経常利益	1,039	435
親会社株主に帰属する中間純利益	154	285
総資産	97,891	101,849
純資産	15,364	16,519

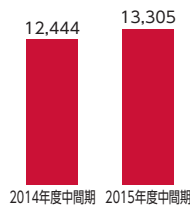
正味収入保険料・生命保険料

正味収入保険料は、前中間期に比べて860億円増加(+6.9%)して1兆3,305億円となりました。また、生命保険料は、前中間期に比べて93億円増加(+6.9%)して1,436億円となりました。

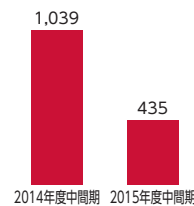
経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

経常利益は、損保ジャパン日本興亜、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命ともに減益となったことから、前中間期に比べて604億円減少して435億円となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、損保ジャパン日本興亜において合併関連費用がなくなったことを主因として、前中間期に比べて131億円増加して285億円となりました。

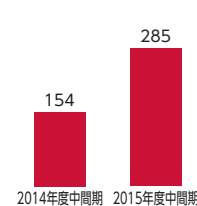
正味収入保険料 (単位:億円)



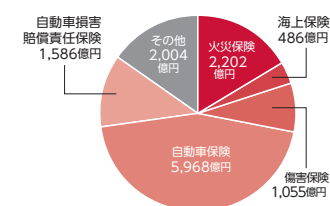
経常利益 (単位:億円)



親会社株主に帰属する中間純利益 (単位:億円)



正味収入保険料の種目別内訳 (2015年度中間期)



TOPICS

JPX日経インデックス400の構成銘柄に選定

当社は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定されました。

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループおよび株式会社東京証券取引所ならびに株式会社日本経済新聞社が2014年に共同開発した株価指数で、東証上場銘柄(東証1部、東証2部、マザーズ、JASDAQ)から抽出された「投資者にとって投資魅力の高い会社」400銘柄で構成されています。

投資家の関心が高いとされるROEや営業利益などが選定基準に盛り込まれていることから、株式市場での注目が高まっています。



DJSIの構成銘柄に選定

当社は、「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI)」の「World」および「Asia Pacific」の構成銘柄に選定されました。

「DJSI」は、スイスのRobecoSAM社が米国のダウジョーンズ社と1999年に共同開発した株価指数で、経済・環境・社会の3つの側面から企業の持続可能性に注目して構成銘柄が選定されます。当グループは日系企業で唯一「World」に16年連続で選定されるなど、先進的な取組みが高い評価を受けています。

こうした社会的責任投資 (SRI) と呼ばれる手法には世界中で関心が高まっており、当社は、DJSI以外の多くのSRIインデックスでも組入銘柄に選定されています。



損保ジャパン日本興亜

(単位:億円)

	2014年度中間期	2015年度中間期
正味収入保険料	10,974	11,406
(除く自賠責)	9,432	9,822
正味損害率	65.6%	59.3%
(除く自賠責)	63.2%	56.3%
正味事業費率	32.0%	31.7%
(除く自賠責)	33.9%	33.5%
コンバインド・レシオ	97.6%	91.0%
(除く自賠責)	97.1%	89.8%
保険引受利益(△は損失)	256	△ 196
資産運用粗利益	724	463
経常利益	974	201
中間純利益	116	88
総資産	69,975	71,629
純資産	13,843	14,472
単体SM比率(2015年9月30日)		750.0%

**正味収入保険料**  
火災保険や自動車保険などが増収したことから、前中間期に比べて431億円増加(+3.9%)して1兆1,406億円となりました。

**正味損害率・正味事業費率**  
自動車保険の収支改善を主因に、正味損害率は前中間期に比べて6.3ポイント低下して59.3%となりました。正味事業費率は前中間期に比べて0.3ポイント低下して31.7%となりました。

**経常利益・中間純利益**  
保険引受利益が452億円減少したことを主因に、経常利益は前中間期に比べて772億円減少して201億円となりました。中間純利益は前中間期に比べて28億円減少して88億円となりました。

格付け情報  
Standard & Poor's [保険財務力格付け] **A+**  
Moody's [保険財務格付け] **A1**  
格付投資情報センター(R&I) [発行体格付け] **AA-**  
日本格付研究所(JCR) [保険金支払能力格付け] **AA**  
(2015年9月30日現在)

TOPICS

企業向け安全運転支援サービス「スマイリングロード」の提供

損保ジャパン日本興亜および損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントは、2015年3月から、企業向け安全運転支援サービス「スマイリングロード」の提供を全国で開始しました。ビッグデータ解析やテレマティクス技術などを活用した安全運転を支援する業界初の先進的なサービスの提供により、企業活動における自動車事故の削減を目指し、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。



損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

(単位:億円)

	2014年度中間期	2015年度中間期
保有契約高	206,359	213,186
新契約高	11,966	11,078
保有契約年換算保険料	3,127	3,252
新契約年換算保険料	173	203
保険料等収入	1,852	1,932
保険金等支払金	889	881
基礎利益	139	121
経常利益	150	119
中間純利益	79	63
総資産	21,952	23,400
純資産	1,182	1,334
単体SM比率(2015年9月30日)		1,693.5%
MCEV(2015年3月31日)		7,844

**保険料等収入**  
医療保険を中心に保有契約が増加したことから、保険料等収入は前中間期に比べて80億円増加(+4.3%)して1,932億円となりました。

**経常利益・中間純利益**  
経常利益は前中間期に比べて30億円減少して119億円、中間純利益は前中間期に比べて16億円減少して63億円となりました。

用語解説  
**SM(ソルベンシー・マージン)比率とは?**  
保険会社の健全性を見るうえで重要な指標のひとつで、通常の予測を超える大災害が発生した場合に、保険金を支払う能力があるかどうかを判断する数値です。一般的に200%以上なら保険金支払能力は問題ないとされています。

**MCEVとは?**  
エンベディッド・バリュー(EV)の評価基準の一つで、「企業の純資産価値」と「保有契約からもたらされる将来利益の現在価値」の合計として計算したものです。

格付け情報  
Standard & Poor's [保険財務力格付け] **A+**  
格付投資情報センター(R&I) [保険金支払能力格付け] **AA-**  
(2015年9月30日現在)

TOPICS

インターネット申込みの開始

—24時間365日簡単スピーディーなお申込みが可能に—

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、2015年7月から、シンプルな保障でわかりやすい医療保険「新・健康のお守り」と、通信販売で人気の高い女性のための医療保険「フェミニヌ」の2種類について、パソコンによるインターネット申込みを開始しました。

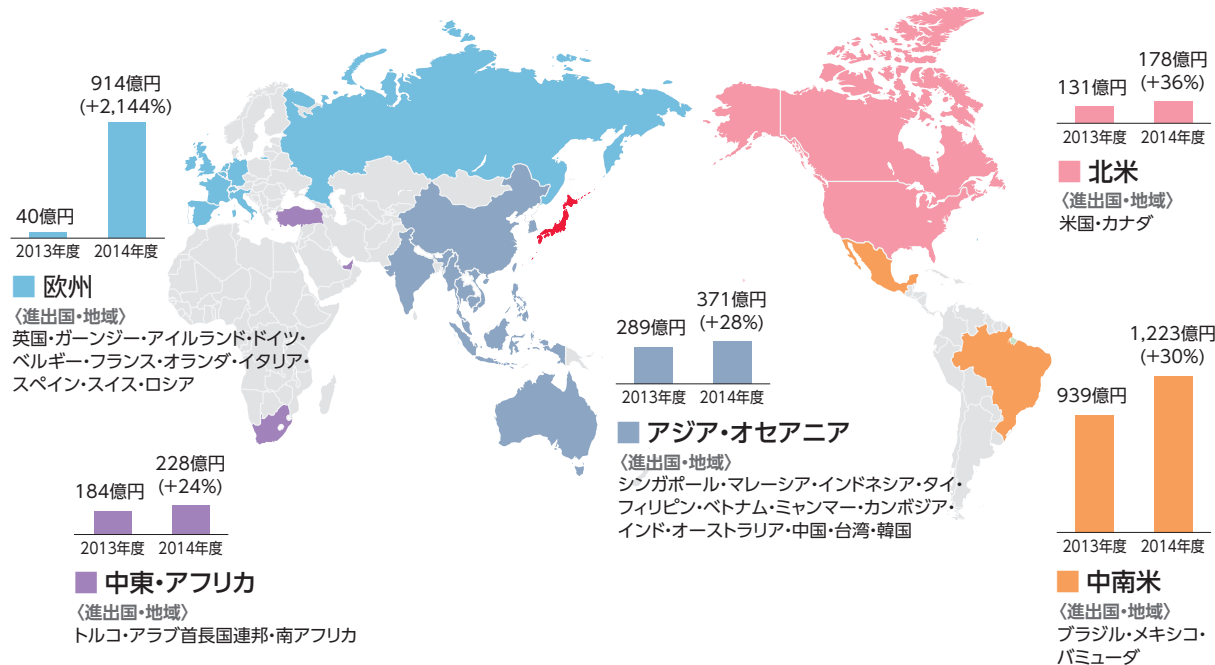
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命[通信販売]サイト ▶ <http://direct.himawari-life.co.jp/>



グループの成長戦略の一翼を担う事業と位置づけ、収益性が見込まれる国・地域を中心に経営資源を投入しています。

先進国においては、キャノピアス社買収により損保スペシャルティ分野へ本格参入する一方、新興国においては、ブラジル、トルコ、マレーシアを重点地域とし、各国でのメジャープレイヤーとなることを目指しています。

各地域における収入保険料規模\*



当グループは、欧州、中東・アフリカ、北米、中南米、アジア・オセアニアの32か国・地域、210都市に展開しています。保険引受業務のほか、事故対応、リスクエンジニアリングなどのサービスを提供しています。

お客さまの資産形成に関するサービスを提供するアセットマネジメント事業や確定拠出年金事業、ロードアシスタンスサービスなどを提供するアシスタンス事業、お客さまのリスクマネジメント活動を支援するリスクコンサルティング事業、健康維持・増進やメンタルヘルス対策に関するサービスを提供するヘルスケア事業のほか、介護サービス事業や住宅リフォーム事業などへも進出し、ビジネスフィールドの拡大を図っています。

(アセットマネジメント事業)



(確定拠出年金事業)



(アシスタンス事業)



(リスクコンサルティング事業)



(ヘルスケア事業)



(ヘルスケア事業)



(リフォーム事業)



(介護サービス事業)



## TOPICS

### 「SOMPOケアネクスト」の誕生

当社は、2015年12月にワタミの介護株式会社の全株式を取得して子会社化し、社名を「SOMPOケアネクスト株式会社」としました。

「SOMPOケアネクスト」は、「ワタミの介護」が展開してきた高齢者の尊厳と自立した暮らしを重視した介護サービスや、日々の健康と楽しみを大切にしたい食事をこれまで以上に高い水準で提供するとともに、当グループのネットワークや経営資源、ノウハウの活用を通じて、世界に誇れる幸せな長寿国日本の実現を目指していきます。

当グループは、社会的課題の解決に貢献するとともに、グループの成長にも資する取組みとなるよう、CSRを推進しています。

● CSRの取組みの詳細はこちらからご覧いただけます ⇒ <http://www.sompo-hd.com/csr/>

国内外の自然環境を守るとともに次世代育成を意識した持続可能な社会の実現に向けた取組みを実施しており、地域貢献プロジェクトとして主に以下のプロジェクトを展開しています。

## 地域貢献プロジェクト

### 防災ジャパンダプロジェクト



親子を対象にした「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を通じて、災害時に自分自身・周囲の人を守るための知識を提供する防災教育を実施しています。



### ミャンマーでの母子保健プロジェクト



© Save the children Myanmar

ミャンマーの5歳未満児や妊産婦の死亡率が、近隣諸国と比較して高い現状をふまえ、ミャンマーの農村地域を対象に、母子の健康改善を目的としたプロジェクトを展開しています。

### SAVE JAPAN プロジェクト



2011年度から、日本NPOセンター、地域の市民活動を支援するNPO支援センターや全国の環境NPOと協働で、市民参加型の生物多様性保全活動を行っています。

## 天候インデックス保険が「ビジネス行動要請 (BCtA)」に承認



当グループが東南アジアで展開している天候インデックス保険の取組みが評価され、2015年7月に国連開発計画 (UNDP) が主導する「ビジネス行動要請 (BCtA: Business Call to Action)」に承認されました。



気候変動の影響を受けやすい農業が主な産業である東南アジア (タイ、フィリピン) において、農業経営リスクの軽減を目的とした保険商品を販売しています。また、ミャンマーにおいても、農家の干ばつリスクの軽減を目的とした保険商品を開発しており、インドネシアでも、同様の保険の提供を目指しています。

## 認知症サポーターの育成

今後ますます進展する超高齢社会に向け、ご高齢のお客さまにより一層の安心をお届けするため、「認知症サポーター」\*の育成に取り組んでいます。

\*「認知症サポーター」は、厚生労働省が認知症対策として2005年に導入した制度で、「認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者」のことです。プレスレット (オレンジリング) の着用が認知症サポーターの「目印」です。



全国キャラバン・メイト連絡協議会主催の2014年度「認知症サポーターキャラバン報告会」において「優良活動団体賞」を受賞 (損保ジャパン日本興亜保険サービス)



## ■ 会社概要 (2015年9月30日現在)

会社名 …… 損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社  
(英文表記:Sompo Japan Nipponkoa Holdings, Inc.)

本店所在地… 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号

設立日 …… 2010年4月1日

資本金 …… 1,000億円

従業員数 …… 35,762名 (連結)

事業内容 …… 損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに付随する業務

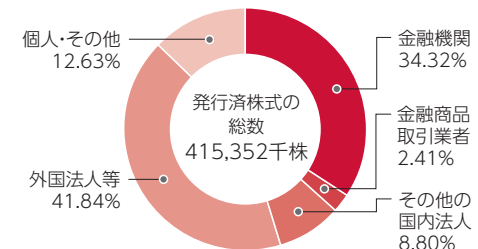
## ■ 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 1,200,000,000 株

発行済株式の総数 …… 415,352,294 株

株主数 …… 46,238 名

所有者別株式分布状況



## ■ 役員 (2015年9月30日現在)

取締役会長	二宮 雅也	常務執行役員	藤倉 雅人	取締役(社外取締役)	野原 佐和子
グループCEO 代表取締役社長 社長執行役員	櫻田 謙悟	執行役員	細井 寿人	取締役(社外取締役)	遠藤 功
代表取締役 副社長執行役員	辻 伸治	執行役員	田中 順一	取締役(社外取締役)	村田 珠美
取締役 副社長執行役員	西澤 敬二	執行役員	小嶋 信弘	取締役(社外取締役)	スコット・トパー・デバイス
取締役 常務執行役員	竹本 尚一朗	執行役員	吉野 隆	常勤監査役	吉満 英一
取締役 常務執行役員	江原 茂	執行役員	中村 茂樹	常勤監査役	高田 俊之
取締役 常務執行役員	伊東 正仁	執行役員	笠井 聡	監査役(社外監査役)	椿 慎美
取締役	高橋 薫	執行役員	奥村 幹夫	監査役(社外監査役)	笠間 治雄
		執行役員	ナイジェル・フラッド	監査役(社外監査役)	柳田 直樹

## ■ 中間配当に関するお知らせ

第6期中間配当金 …… 1株につき40円

支払開始日 …… 2015年12月9日(水)

## ■ 株式に関する各種手続き

- 受取りがお済みでない配当金のお受け取り、支払明細等の発行については、株主名簿管理人にお問い合わせください。なお、配当金のお支払期間は支払開始から3年間となっておりますので、お早目にご請求ください。
- 住所変更、配当金受領方法の指定および単元未満株式の買取・買増などの各種手続きについては、証券会社等に口座をお持ちの株主さまはお取引のある証券会社等にお問い合わせください。なお、証券会社等に口座がなく、特別口座で管理されている株主さまは、「単元未満株式の買取・買増」を除いて売買取引ができません。お早めに証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設していただき、当該口座へ振替手続きを実施していただきますようお願いいたします。詳細につきましては、下記「特別口座の口座管理機関」までお問い合わせください。

	[旧 損保ジャパンの株主さま]	[旧 日本興亜損保の株主さま]
特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (通話料無料)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料)

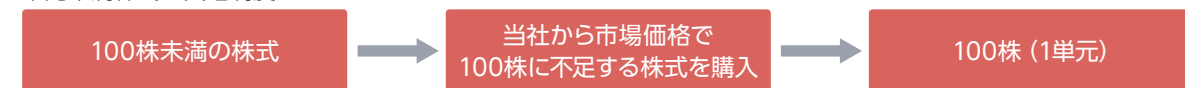
## ■ 100株(1単元)に満たない株式をご所有の株主さまへ

100株(1単元)に満たない株式をご所有の場合、買取制度または買増制度をご利用いただくことができます。

### ● 単元未満株式の買取制度



### ● 単元未満株式の買増制度



※市場での売買が可能となります。



## ■ 株主メモ

- 事業年度 …… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当および議決権の基準日 …… 3月31日（中間配当の基準日は9月30日）
- 単元株式数 …… 100株
- 公告の方法 …… 電子公告により行います。（<http://www.sompo-hd.com/>）  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 …… 東京証券取引所（市場第一部）
- 株主名簿管理人 …… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先および  
各種お問い合わせ先 …… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話：0120-288-324（通話料無料）

## ■ ホームページのご案内



※2015年12月に、ホームページをリニューアル予定です。

ホームページを通じて、個人投資家の皆さまに当社を  
よりご理解いただくための情報をお届けしています。

<http://www.sompo-hd.com/>

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号  
TEL. 03-3349-3000 (代表)



この株主通信は環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。